

(足部疾患における軟骨病変の T2 マッピングを用いた評価法に関する研究)

京都府立医科大学運動器機能再生外科（整形外科）では、扁平足や変形性足関節症などの患者さんを対象に MRI に関する臨床研究を実施しております。

実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

足の病気では、変形進行にともない痛みを引き起こすとされます。症状のある方には MRI などによる形態評価が必要となります。この研究は、足の MRI を新しい方法で解析することによって軟骨の状態を詳しく診断し、治療決定に役立てようとする目的で行います。

研究の方法

・対象となる方について

承認日から 2021 年 3 月 31 日までの間に、当院整形外科で扁平足や変形性足関節症の治療を受けられた方で、扁平足や変形性足関節症の患者さんをお願いしております。

・研究期間：医学倫理審査委員会承認後から 2022 年 3 月 31 日

・方法

診療録（カルテ）より疾患の情報を取得します。MRI 画像情報と取得した情報の関連性を分析し、関節軟骨損傷の出現する仕組みについて調べます。

・研究に用いる試料・情報について

情報：性別、身長、体重、既往歴、病歴、カルテ番号、アンケート、その他の画像情報 等

・個人情報の取り扱いについて

患者さんの画像結果、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場

合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学運動器機能再生外科学 准教授 生駒和也）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・ 試料・情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報や血液や病理組織などの試料は原則としてこの研究のために使用し結果を発表したあとは、京都府立医科大学整形外科において研究責任者（准教授 生駒和也）の下、10年（間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

保存した試料・情報を用いて将来新たな研究を行う際の貴重な試料や情報として、前述の保管期間を超えて保管し、新たな研究を行う際の貴重な試料・情報として利用させていただきたいと思えます。新たな研究を行う際にはあらかじめその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

研究組織

研究責任者

京都府立医科大学 運動器機能再生外科学 准教授 生駒 和也

研究担当者

京都府立医科大学 運動器機能再生外科学 准教授 生駒 和也

運動器機能再生外科学 研修員 城戸 優充

運動器機能再生外科学 特任助教 原 佑輔

共同研究機関： 洛和会丸太町病院 整形外科 部長 原田 智久

なお、ご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

お問い合わせ先

下記において常に受け付けております。

京都府立医科大学大学院医学研究科 運動器機能再生外科学（整形外科）

担当 准教授 生駒 和也（いこま かずや）

〒602-8566 京都市上京区河原町広小路上ル梶井町 465

TEL: 075-251-5549（月～金、9:00 -17:00） FAX: 075-251-5841